

ATC 施設利用・共同開発研究 成果報告書

国立天文台先端技術センター センター長 殿

2020 年 2 月 29 日

下記のとおり施設利用の成果を報告します。

ふりがな： こばやし ゆきやす 代表者氏名： 小林 行泰	③所属機関，部局： 国立天文台
研究課題名： スペックルマスキング法の応用	
利用期間： 2019 年 4 月 4 日 ～ 2020 年 3 月 31 日	
利用者リスト 小林行泰	
研究開発の成果（ATC 施設利用との関連を具体的に記述してください。） 一年目は時間が割けず、予定していた成果をあげることはできなかった。第一段階として、卯酉儀架台に 125mm 屈折望遠鏡を装着し、デジカメを用いた月面の撮像を行い、スペックルマスキング法を適用して、像質の改善を試みる予定であったが、まず始めたスペックルマスキングのためのソフト開発が遅れたため、撮像観測まで到達しなかった。現状では、卯酉儀の動作確認と観測システムの構成を決定し、Python を用いた開発環境を整備し、スペックルマスキング法のソフトウェアの開発を開始した。	
施設利用が謝辞等に記された学術論文など（資料を添付してください。） なし	
先端技術センターの利用設備・実験室等の利用した物品を具体的に記入してください。マシンショップへ依頼したリスト・利用した測定器・CAD 等について記入してください。） エレキショップを用いて、電動焦点調整治具などの製作をおこなった。オシロ、電源などを借用した。	
先端技術センターの施設への要望等ありましたら、記入してください。 望遠鏡のカバーがついていたが、古くなってボロボロになってしまっているので新しくしてほしい。	